

隠れた木のカシリース 清流共生会のデイサービスセンター川添清流苑



丘の上から大野川を望む川添清流苑

わが国で木造の特別養護老人ホームの地平を切り開いたのは、清流共生会が2006年に大分市に建設した総合ケアセンター「明治清流苑」だ。04年にツーバイフォー（2×4）木造建築の耐火構造の大臣認定を日本ツーバイフォー建築協会とカナダ林産業審議会が取得後、同程度の規模では国内初の事例だった。それから足かけ20年近く。2×4木造が入居者にもたらす効果を実体験として感じ取ってきた。そして24年7月、木造社会福祉施設のパイオニアである清流共生会が、新たに2×4木造で「デイサービスセンター川添清流苑」を建設。木材の優しさや大空間を存分に生かした運営を行っている。



トラス施工時の様子。手前が組立用のプラットフォーム



17メートルスパンの大空間を生かして大人数のイベントも開ける



内観(廊下)

西側テラス

パイオニアがつむぐ木造の連鎖

清流共生会 会長

兒玉 貞夫氏



清流共生会 理事長

兒玉 哲郎氏



清流共生会の経営理念は「分かちあい共に生きる」を理念としている。分かちあいは、サービスを提供する側とされる側という立場だけでなく、利用者同士、職員同士、地域同士、地域と施設、さまざまな関係性の中で分かちあいを理念としてサービス展開している。

明治清流苑を06年に建設した

会長「当時、北欧の福祉施設を見学する機会があり、かなり大型の木造

木の優しさ存分に発揮

施設を初めて見た。日本でもっともいい建築ができたかと思った。その思いを吉高総合設計の吉高久人代表取締役が話したところ、木造耐火構造を認める新しい方向性が出たと聞き、挑戦するようになった。

「建設現場は雨滑に進んだのか

会長「わが国で第1号の木造耐火

構造の特別養護老人ホームだったの

で、途中どん挫しかかったこともあ

った。『もつやめよ』という話もし

た。そこら中でも、みんなの思いが

「何とやがり遂げたい」と一致して

強い思いで完成できた」

――木造空間の居心地は

会長「現在も高齢者の特別養護老

人ホームやアイサービス、小規模多機

能型住宅介護、グループホームとこ

使っているが、木造の優しさという

良さが存分に発揮されていると思う

木造の本質的な居心地の良さが十分発

揮されている」

――デイサービスセンター川添清

流苑の建設経緯は

理事長「本部は移設したものの、

もつやめよは法人設立の地であり、

地域の福祉ニーズも非常に高かったこ

から、この地にサービスを残してい

くしたかった」

大空間で目が届きやすく

「職員はもちろん、利用者の皆さんからも、非常に高評価をいただいている。地域の方が入りやすい、利用しやすいということが評価され、1日35人ほどの利用者が出て、非常に運営も安定している。これも居心地の良さが表れているからではないか。冷暖房の効き方も良く、季節ごとの快適さも時を重ねるほどに実感できるのではないかと。認知症の方は、寒いと感じると、立ち上がって歩く、いわゆる徘徊(はいかい)がする。木造は、暖かいので、立ち上がる必要がなく、座っていることが多い」

――17メートルスパンの大空間が印象的

で、運動器具を設置して運動してい

たと思えば、すぐに器具を移動

したりと空間を有効活用している

理事長「完成当初は、利用者から

まず、この空間の広さに驚きの声をい

ただいた。限られた人員で介護する

際に、利用者皆さんに目配りするの

は本当に大変な作業になる。大空間にす

ることで、職員の動線やお年寄りの安

全確保において、目が届きやすく、非

常に効果がある」

――建設コストはどのくらいか

理事長「最初は、やはり軽量鉄骨

やRCを検討した。その中で、木造は

1割ほど安くなったと思う。福祉事業

は、不確定要素が多く、事業の継続性

を考えた時に、RC造やS造より木造

の減価償却期間が短いことも非常に大

きなメリットを感じた」

木造医療福祉建築を切り開く

吉高総合設計の吉高久人氏は、2×4

木造による医療福祉建築物設計のパ

イオニアだ。耐火木造の福祉施設建

築の道を切り開いた明治清流苑をはじめ

として、約20棟の耐火木造医療福祉建

築を設計してきた。「足腰の負担が軽

減される。気密性・断熱性が高く、ラ

ンニングコストの面で非常に有利にな

る。耐震性、耐火性も高い。インシ

ュルコストも、RC造より割増し、S

造より1割ほど安くできる。減価償却

期間もRC造の約半分済み、大きな

メリットになると、木造の総合力の



吉高総合設計 代表取締役 吉高 久人氏

高さを信じて取り組んできた。

明治清流苑が完成して約20年。兒玉

氏から「耐震性、耐火性も含めた全

面で木造の優位性を感じられた」と

声を掛けられ、今回のデイサービス

センター川添清流苑の設計も手掛ける

ことになった。

「フレキシビリティの高い、間仕

切りがない大きな空間をつくりたい

という依頼があり、ネイルプレート

ラスを使った17メートルスパンの大空間を

実現した。施工に当たっては、トラスを

搬入する動線や現場敷地が狭かったた

め、「プラットフォーム」という床

を作り、そこでトラスを組み立てる方

法を採用した」という。

木材は、カナダ産のSPF材を20

0立方メートル、国産材の構造用合板を25立

方メートル使用し、「2×4材、ディメン

ションランバー」は北米のN.L.G.A規

格か、J.A.S規格で生産・管理されて

いる。

国内の地域建設会社には2×4木造

の施工を敬遠する会社もあるものの、

「施工した森田建設やフレマーのウ

ィングとは、過去に複数の案件で組ん

でおり、気心が知れてノウハウが蓄積

し、「一言言えば土を知る」というチ

ームができていて」と自信を見せる。

それでも施工時には勉強会を開催し、

ポイントを伝えてきた。「2×4には

不慣れた建築家も、少し勉強すれば、

それほど難しくはない。建て方がで

きる建設会社もしっかり存在している。

協力してチームを作って取り組めば、

さらに普及していくのではないかと

見据える。

トラスで17メートルスパン実現

おり、寸法や品質管理が確立されているので、無駄がなく、コストも抑えられる」と強調する。

丘の上という立地を生かし、「南北に風が抜ける構造にした」と利用環境にも十分配慮し、屋根をかまぼこ形にすることで「自然環境に合った柔らかいデザインにした」と意匠にも気を配った。

国内の地域建設会社には2×4木造の施工を敬遠する会社もあるものの、「施工した森田建設やフレマーのウィングとは、過去に複数の案件で組んでおり、気心が知れてノウハウが蓄積し、「一言言えば土を知る」というチームができていて」と自信を見せる。それでも施工時には勉強会を開催し、ポイントを伝えてきた。「2×4には不慣れた建築家も、少し勉強すれば、それほど難しくはない。建て方ができる建設会社もしっかり存在している。協力してチームを作って取り組めば、さらに普及していくのではないかと見据える。」



森田建設 作業所長 猪尾 悦訓氏

森田建設は、九州全域を中心に建築の元請け・サブコンを手掛けている。多くの木造施設を吉高総合設計と組んで施工するなど、2×4木造の実績を積み上げてきた。森田建設の猪尾悦訓作業所長自身は、2×4木造の現場所長の経験はなかったものの、施工をサポートした経験はあった。施工に当たり、「2×4の耐火建築物の施工方法を事前に吉高総合設計に聞いて、確認してからスタートした」という。

搬入路や現場のスペースが限られているという点が施工に当たって最大の課題だったが、「一番最初が勝負。組み立て方など施工計画をまず重点的に検討した」と、「段取り」に力を入れた。組み立てたネイルプレートトラスをそのままトラックで搬入できなかったため、「現場で組み立てるスペースの確保と組立・建て方を検討し、トラスを組むプラット

フォームを最初に作り、基本的に作業が建物の中で完結する流れにした」という。トラスの組立や建て方を担当したウィングとも「事前に現場を見ながら状況を確認した」という。

「最初にしっかり計画さえすれば、施工は早い」とトラスを採用したことで工期短縮にもつながり、経験のあるS造建築と比べても「2×4の方がとても施工が早い」と感じている。

あくまでも自分自身は「与えられたものを工期内に予算内で施工するだけ」という姿勢で、「自分の知識として何でもできるようにしたい」と今回の2×4木造の「引き出し」が増えた経験を生かし、さらなる成長を目指していく。

- 建築概要
- ▷工事名称=デイサービスセンター川添清流苑新築工事
- ▷建築主=社会福祉法人清流共生会
- ▷設計=吉高総合設計
- ▷施工=森田建設、フレーム=ウィング、トラス供給=プライムトラス
- ▷構造=木造枠組壁工法、耐火構造、屋根は木造トラス工法
- ▷規模=平屋建て1,019平方メートル
- ▷構造用木材使用量=225立方メートル(製材・集成材・トラス材<SPF材> 200立方メートル、構造用合板<国産材> 25立方メートル)
- ▷工期=2024年1月25日～24年7月29日
- ▷建設地=大分県大分市種員144番地

カナダ林産業審議会
www.cofi.or.jp
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-27 巴町アネックス2号館9階
TEL: 03-5401-0533
カナダ林産業審議会(COFI)は、ツーバイフォー工法やネイルプレートトラス、それらに使用されるSPF材など、木造建築に関する普及・啓蒙活動を行っているカナダの非営利団体です。

ネイルプレートトラスとトラス製造工場の情報はこちら
日本木質トラス協議会
www.jwtc.org

デイサービスセンター川添清流苑の建設関連動画はこちら

Canada Wood
カナダ ウッド
カナダ木材製品全般の普及・促進